



平成20年

2月号



あながわはなぞのようすえん

園だより

今月の「ののさま」のことは

ぜんじょうせいじやく
禅定静寂

こころ静かに、自らを見つめて生活しよう。

今月の予定

日	曜	活動内容	保育	体操教室			給食・お弁当
				長	中	少	
1	金	節分	一日				○
4	月	個人面談	半日				
5	火	個人面談	半日			○	
6	水	涅槃会(ねはんえ)	一日				
7	木	年中組ルネサンスプール	一日				○
8	金	幼稚園創立記念休園	休園				
11	月	建国記念の日	休園				
12	火	人形劇「力太郎」(12:30)	一日		○		○
13	水		一日				
14	木	年長組ルネサンスプール 年中組お茶のお作法	一日				○
15	金	避難訓練	一日			○	○
18	月		一日				
19	火	思い出遠足(たてわり保育)	一日				
20	水	誕生会	半日				
21	木	一日入園(在園児休園)	休園				
22	金	(思い出遠足予備日)	一日	○			
25	月	年長組『お茶会』	一日				
26	火		一日		○		○
27	水		半日				
28	木	参観日	半日				
29	金		一日	○			○

【節分】 1日(金)

本堂に集まり、園長先生のお話を聞いた後、豆まき・鬼さんと記念撮影など、楽しい行事です。また、子どもたちが一年で一番良い子になる日でもあります。



【涅槃会】 6日(水)

お釈迦様の亡くなった日です。本堂に集まり、お涅槃の大きな掛け軸を見ながらお参りをします。園舎のとなりの大きな涅槃像にもお参りに行きます。お供物を差し上げます。

【思い出遠足】 19日(火)

縦割り保育のペアクラスで、動物公園に出かけます。お兄さんお姉さんには、小さな子の面倒を見てあげる優しさや頼もしさが育まれます。年少の子どもたちにとっては、あこがれのお兄さんお姉さんといっしょに遠足という楽しい一日です。



【一日入園】 21日(木)

平成20年度の新入園児の一日入園・入園準備会・教材配布を行います。在園児は休園となります。

【お茶会】 25日(月)

年中時には、お菓子をいただき、お作法を習ってきました。年長になって、お抹茶をいただき、お道具のこと、感謝の心を表すいろいろなお作法についても習いました。その二年間の集大成として「お茶会」をいたします。



雪景色の朝

1月には、久しぶりに雪景色を見ました。東京では約2年ぶりだったそうです。

園庭にもうっすら雪が積もりました。雪だるまを作るほどではありませんでしたが、まわりの草木の葉っぱに積もった雪を集めてきて、かわいらしい雪だるまを作った子どもたちもいました。水かけっこならぬ、雪かけっこをする子や、男の子は雪合戦もしていました。

久しぶりの雪が2年ぶりだったとすると、自分の住んでいるところの雪景色を初めて体験する子がほとんどだったのだらうと思います。2年前の記憶が子どもたちの中にあれば別ですが・・・

園庭の畑は、園庭とちがって土の温度が低いらしく、雪が積もっていました。苗床を覆っているビニールも、雪で白くなっていました。

職員室から外を見ていたら、年少の女の子が、そのビニールに積もっている雪を手に取り、どうするのかなと思ったら、こっそり口に運んでいました。子どものころ、空から降ってくるボタン雪を、次から次に口の中で受け止めた記憶がよみがえりました。どう見ても、子どもにとって、あの雪はおいしそうに見えます。学生の頃、屋根に積もった雪を窓からすくって、ウイスキーの雪割りなんか飲んだものです。水道が凍って、屋根のツララを集めて、晩ご飯のラーメンを煮たこともありましたが、雪はシロップをかけたらすぐにカキ氷、なんて、おいしそうに見えます。

その年少の子にとって、雪は珍しいものだったでしょうし、まったく初めての出会いだったかもしれません。朝起きて目で見た雪、家を出て踏んづけてみた雪、雪かけっこをするのに手でさわった雪、そして口で舌で味わった雪。子どもには、五感で体感しようという力がはじめから備わっているんだと見て取れました。赤ちゃんがなんでも口に入れるなんていうのも、すごい力なのかもしれません。

雪の中にはゴミも入っているし、おなか痛くするよなんて、子どもの潜在能力を摘んでしまう言葉かもしれないと、そっと見ていた雪の日の朝景色。

日本昔話
力太郎
2006

【人形劇「力太郎」】

12日(火)

くすのきまつりでのプレゼントは、劇団ちるりんの人形劇「力太郎」。保護者の会から、収益金の一部がプレゼントされます。ゲーム時代だからこそ、子どものお友だちであるかのような人形劇の魅力を、夢と希望をいただきつつ味わって欲しいと思います。

今月の保

単元	保育のねらい	主な活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	・友だちと心ゆくまで遊びを楽しみ、つながりを深める。	「クラス対抗、ドッジボール大会！」	くすのきまつりに、弾けるように自分たちの力を発揮できた年長組。就学の不安など吹っ飛ばすかのように自信を抱いています。食べ物に対する親しみ、友だちとのかかわり方、言葉や行動の表現力などすばらしい成長がみられました。体験から得た成長の逞しさを信じて、応援してあげましょう。
	・見通しをもって、園生活をすすめていこうとする。	「時計を見て、行動しよう！」	
年中組	・他学年と過ごす中で、あこがれや進級することへの期待をもつ。	「年長さんとの思い出を作ろう」 ～思い出遠足、年長さんへのプレゼント作りなど～	友だち同士、イメージを共有して遊んでいても、バラバラになり、自分の思うように行かなくなったり、居なくなってしまう事もあります。園での日々は、そんな時「どうするか？」を学んでいるとも言えます。いちいち過ぎたことに相手を攻めたり拘らず、また遊びを展開していると、新たに、友だちは来るものです。家庭での心の安定が基になります。
	・仲間と一緒に、いろいろなことに取り組むことを楽しむ。	「みんなでやってみよう！」 ～学年？？ 会に向けて～	
年少組	・他学年のお友だちと関わる中で、あこがれや期待をふくらませる。	「お兄さんお姉さんに、なれるかな？ Let's try！」 ～お茶の見学、思い出遠足、参観日～	遊び場所、仲間が広がり、園舎の中を年中さんや年長さんのお部屋まで、当たり前のように出掛けていって、活発に遊んでいます。行動範囲が広がると、気持ちののびのびして、自分の言葉で一生懸命表現している姿が多く見られます。思うように行かないつまずきもあるでしょう。その都度前向きに、援助してあげましょう。
	・自分の力を発揮しながら、遊びや生活に意欲的に取り組む。	「子どもは、風の子元気な子！」 ～みんなで戸外ゲーム～	